

英語ライティングB Writing B

薬：K2-12121MY、生命：K2-12121MS

素養科目 1、2年/後期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 A組：刑部 昂、B組：稲田 俊一郎、C組：ソーステン・D・ミヒャラク

■教育目的（各クラス共通）

日常的な手紙や E-mail の書き方から英文エッセイまで、文法、語彙の増強、パラグラフライティングなど総合的な英語作文能力を養う。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 英語の文章(段落)構成に関する知識を身につけ、論理的な展開の英文エッセイを作成できるようにする。
2. E-mail や Fax、および、英文の手紙等に特有の形式を習得する。
3. 文法、語彙・語法等知識の確認を行い、できるだけわかりやすい英文の作成方法を身につける。

■授業内容

A組 刑部 昂

パラグラフを構成する様々な要素を学びながら、英語で文章を組み立てるために必要な知識を身につけていきます。また、例となる英文のエッセイの読解を通して、基本的な語彙や文法の確認も適宜行なっていきます。

受講者は毎回課題を提出する必要があります。状況によっては対面となる可能性もあるかと思いますが、その時には授業の進め方なども変わる可能性がありますので、適宜お知らせいたします。

準備学習（予習・復習）：毎回、教科書のチャプターを一つずつ進めていきます。

予習：教科書は基本的にすべて問題形式となっているため、受講者には自分の解答を直接書き込んだ写真か Word ファイルに記入したものを期限までに提出してもらいます。その際、教科書内の説明をよく読み、また辞書を用いて語彙の確認を行ってください。不明な点や気になった箇所などは、質問として Word ファイルに記入し、課題とともに提出してください。

復習：教科書の解答に加え、間違いの多かった箇所を中心に解説を記した Word ファイルを後日配布します。質問がある場合には質問者の名前は伏せた上で、このファイル内でお答えします。基本的には毎回英作文問題があるため、匿名で数名の解答を例として挙げ、添削を行います。受講者は自分の解答を自己採点しつつ、解説をよく読み、理解を定着させていくことが求められます。

授業形態：双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：毎回の課題には解答解説と一部添削のフィードバックがあります。添削は受講者数にもよりますが、全員均等になるよう行います。

成績は、課題 60%、期末試験 40% で評価します。

教科書：『Writing Techniques for College Students』Saburo Yamamura / Mariko Kaneto / Shoko Kojima 著(金星堂) (ISBN: 978-4-7647-3835-5)

B組 稲田 俊一郎

様々なパターンのパラグラフ(Definition Paragraph, Cause/Effect Paragraph, Comparison/Contrast Paragraph, Narrative Paragraph 等)の実例を配布資料を用いて取り上げながら、英文でのレポート・論文作成の基礎となるような文章の構成方法を学ぶ。

それぞれのパターンのパラグラフ構成について、以下のことを行う。

- ①基本的な構成方法を理解する(授業内)
- ②第一稿を作成する(復習課題)
- ③ peer review を行う(授業内)
- ④第二稿を作成する(復習課題)

英文でのレポート・論文作成では、著者の意図を読み手に誤解させないよう正確に伝えることに注力することになる。自身で作成した第一稿(匿名)についてクラスの学生同士で peer review を行い(匿名)、フィードバックを得ることで、自分が書いた内容の「伝わってなさ」を自覚するとともに、意識的に回避できるようになる能力を身に付ける。また、誤りを含む実例の校正に取り組むことで、英作文の際に誰もが陥りがちな誤りに自覚的になり、自力での英文校正力の向上を狙う。

準備学習（予習・復習）：予習：配布資料の語彙や表現を辞書で調べた上で授業に臨むこと(20分)

復習：授業内で行ったことを参考にして、1パラグラフ分の英作文を複数回課す(40分)。

授業形態：課題解決型学習、グループワーク、双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題は、提出した英作文を毎回添削しコメントする。

成績は、期末試験(60%)、レポート(40%)で総合評価する。

その他：授業内で作文を行う場合は、ノートパソコンを持参することがある。いつ必要になるかは、その都度指示する。

C組 ソーステン・D・ミヒャラク

This course is designed to have you build your confidence writing simple, logical paragraphs.

The weekly classes follow a top-down approach that teaches you how to analyze paragraphs and begin writing your own

paragraphs right from the start. Each weekly unit pays attention to sentence and paragraph structure, as well as the logical presentation of ideas, while increasing in paragraph length from unit to unit.

Homework will be assigned by the course teacher and should be completed before the next lesson. The submitted assignments will be corrected and returned to the students with comments. You will receive weekly feedback by e-mail. The classes will be conducted online so it is important that you follow directions and complete every assignment on time.

授業形態：双方向型授業、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：レポート 50 %、期末試験 50 %

教科書：『Real Writing: From Structured Paragraph to Complete Essay.』（川崎真理子他）南雲堂、2019 年。

All other activity material will be provided by the course teacher.